

クールシェアふくい推進事業

背景・目的

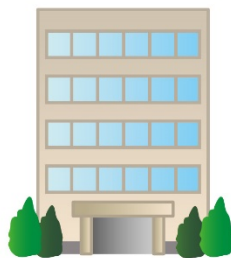
- 東日本大震災以降、全国的に省エネ・節電への関心が高まる
- 電力需要が最も高まる夏に、家庭の消費電力(夏季14時)の50%以上を占めるエアコンを消して、公共施設や民間施設・店舗などの涼しい場所に出かけることにより、家庭における消費電力を抑制する「クールシェア」の取組を全県的に実施(H27~)
- ピーク時間帯だけでもエアコンの使用を控えることで発電所の負荷を減らすことが可能
- 「家庭におけるエアコンの消費電力の削減」をゴールに設定し、事業の目的を「クールシェアの周知」とし、その手段としてスタンプラリーを実施

事業概要

- ・民間施設(ショッピングセンター、飲食店、映画館、銭湯など)
 - (a) 涼しさを共有するスペースを無料で提供(必須※)
 - (b) スタンプラリー企画での押印(任意)
 - (c) 独自のサービス(値引き、イベント無料券等)を提供(任意)
 - (d) スタンプラリー参加者への景品の提供(任意)※景品提供のみの場合は必須ではない
- ・公共施設(図書館、美術館、博物館、公営プールなど)
 - (a) 涼みのスペースを無料で提供(必須)
 - (b) スタンプラリー企画での押印(任意)

事業スキーム

○日程: 令和元年7月13日(土)~9月30日(月)



環境ふくい推進協議会

- ・「クールシェア」協力施設・店舗の募集・登録
- ・スタンプラリー参加者への景品を提供
- ・のぼりやチラシにより、「クールシェア」を広報

行動変容



県民

- ・おうちのエアコンを消してクールシェアスポットへ
- ・3つのスポットでスタンプをゲットし、抽選に応募

- スタンプラリーの実施結果(H30)
- ・実施施設: 199か所
- ・応募総数: 2, 899件

- (スポットの主な要件)
- ① 涼しく快適に過ごせる
 - ② 概ね1時間程度滞在できる
 - ③ 家族で訪れることができる

来客数の増加を見込めます



施設

- ・施設・店舗で独自のサービス(値引き、大盛り等)を提供
- ・スタンプラリー企画での押印